

和泉市学校給食管理

システム構築等業務

選考評価基準

令和6年6月

Ⅰ 次選定

Ⅰ次選定は、事務局において、「選考評価基準」に基づき、提出された契約実績報告書〔様式4号〕に基づく「業務実績点」、積算書〔様式8号〕に基づく「価格評価点」、要求事項確認書〔様式9号〕から採点した「機能評価点」により、合計点が高い者から順に4者を選定する。ただし、参加表明者が4者以内の場合はⅠ次選定を省略し、Ⅱ次選定のみ実施する。

【業務実績点】……契約実績報告書〔様式4号〕

(点数の計算方法)

業務実績件数：公募開始日から起算して過去5年間の契約件数(自治体数)が多い順に並べ、一番多い者を最高得点(=提案者数)とし、以下1点ずつ減点した点数を得点とする。契約件数が同数の提案者が複数あった場合は、得点例②のとおり、減点した点数を得点とする。

※5年前に契約したものでも、直近5年間に利用している場合は数に含まない。

(得点例①) A:5自治体、B:20自治体、C:10自治体、D:15自治体、E:30自治体 の場合

※提案者数が5社の場合は5点が最高得点となる。

⇒E(5点)、B(4点)、D(3点)、C(2点)、A(1点) となる。

(得点例②) A:10自治体、B:10自治体、C:9自治体、D:8自治体、E:7自治体 の場合

⇒A(5点)、B(5点)、C(3点)、D(2点)、E(1点) となる。

【価格評価点】……積算書〔様式8号〕

(点数の計算方法)

提出された積算書に基づき採点を行う。

5年間(60ヵ月)利用を想定し、構築・保守を1ヵ月あたりの費用に換算して提案の基準価格とするもの。そのため、提案価格の内、構築費用に関しては、60で除した金額(小数点以下切り捨て)を構築評価基準価格とし、保守費用に関しては、1ヵ月分の金額を保守評価基準価格とし、それらを合算した金額を合計評価基準価格とし、合計評価基準価格が低い順に並べ、一番低い提案者を最高得点とし、その得点は提案者の数の2倍とし、以下2点ずつ減点した点数を得点とする。合計評価基準価格が同額の提案者が複数あった場合は、得点例②のとおり、減点した点数を得点とする。

なお、実施要領にて示している各提案限度額(①管理委託費及び②システム利用費)を超過した場合は失格とする。

(点数の計算イメージ)

提案価格について、構築費用が4,108,000円(税別)の場合

$4,108,000 \text{ 円} \div 60 \text{ ヵ月} = 68,466 \text{ 円(税別)}$ (小数点以下切り捨て)が構築費用の構築評価基準価格となる。保守費用については、 $94,000 \text{ 円(税別)}$ [1ヵ月分]が保守費用の保守評価基準価格となる。

(得点例①) A:162,466円、B:160,000円、C:145,000円、D:150,000円、E:147,500円 の場合

⇒C(10点)、E(8点)、D(6点)、B(4点)、A(2点)

(得点例②) A:143,000円、B:143,000円、C:145,000円、D:150,000円、E:160,000円 の場合

⇒A(10点)、B(10点)、C(6点)、D(4点)、E(2点) となる。

〔機能評価点〕……要求事項確認書〔様式 9 号〕

（点数の計算方法）

提出された要求事項確認書の対応可否欄の数値を合計し、合計得点の多い順に並べ、一番高い提案者を最高得点とし、その得点は提案者の数の3倍を最高得点とし、以下 3 点ずつ減点した点数を得点とする。合計得点と同点の提案者が複数あった場合は、得点例②のとおり、減点した点数を得点とする。

（得点例①）A:60 点、B:50 点、C:40 点、D:30 点、E:20 点 の場合

⇒A(15 点)、B(12 点)、C(9 点)、D(6 点)、E(3 点) となる。

（得点例②）A:60 点、B:60 点、C:40 点、D:30 点、E:20 点 の場合

⇒A(15 点)、B(15 点)、C(9 点)、D(6 点)、E(3 点) となる。

〔業務実績点〕と〔価格評価点〕と〔機能評価点〕の合計点数が同点の場合、〔機能評価点〕の点数が高い方を優先とする。次に〔価格評価点〕を優先とする。

2次選定

選定については「和泉市プロポーザル方式の実施に関するガイドライン」により選定委員会を立ち上げ、総合得点によって決定する。なお、集計は教育委員会事務局にて行うものとする。

〔選定方法〕

プレゼンテーションを実施し、企画提案内容等について評価し、評価項目シートに基づき採点を行う「評価項目点」、積算書に基づき採点を行う「価格評価点」、要求事項確認書に基づき採点を行う「機能評価点」の3つの採点項目により、総合的に選定する。

〔総合得点〕

審査員 1 人あたり 150 点満点とし、各委員の評価項目点の平均点（150 点満点）（小数点以下切り捨て）を評価項目点とし、価格評価点（90 点満点）と機能評価点（60 点満点）の合計点（300 点満点）を総合得点とする。

・評価項目点（プレゼンテーション）	150 点満点
・価格評価点（積算書）	90 点満点
・機能評価点（要求事項確認書）	60 点満点

※価格評価点については、5 年間（60 ヶ月）利用を想定し、構築・保守を 1 ヶ月あたりの費用に換算して計算を行う。そのため、提案価格の内、構築費用に関しては、60 で除した金額（小数点以下切り捨て）を構築評価基準価格とし、保守費用に関しては、1 ヶ月分の金額を保守評価基準価格とし、それらを合算した金額を合計評価基準価格とし、その合計評価基準価格にて価格評価点を計算する。

（価格評価点の計算イメージ）

提案価格について、構築費用が 4,108,000 円（税別）の場合

4,108,000 円 ÷ 60 ヶ月 = 68,466 円（税別）（小数点以下切り捨て）が構築費用の構築評価基準価格となる。

保守費用については、94,000 円（税別）〔1 ヶ月分〕が保守費用の保守評価基準価格となる。

構築費用:68,466 円(税別)+保守費用:94,000 円(税別)=162,466 円(税別)が合計評価基準価格となる。

合計評価基準価格の上限(162,466 円)の 80%以下(129,972 円)の場合は、90点満点

合計評価基準価格の上限と同額の場合は0点

それ以外の場合は、次式にあてはめる。

$$90点 - \left(\frac{\text{合計評価基準価格} - 129,972}{162,466 - 129,972} \right) \times 90点$$

※小数点以下切捨て

【評価項目シート】 ※審査員 1 人あたり 150点満点

分類	評価項目	満点
1.提案全体 (20点)	全体的に仕様書に沿ったシステムの提案となっているか。	10
	画面構成や機能などがイメージしやすい提案となっているか。	10
2.システム構築 (40点)	ネットワーク下でのデータベース構築がスムーズに実施できる提案となっているか。	10
	初期データ(献立・料理・食材等)の移行方法を明確にしているか。 また、データ移行が困難な場合の代替提案を示しているか。	10
	システムのセキュリティ対策は十分に講じられているか。	10
	今後の業務改善につながる付加提案がされているか。	10
3.システム機能 (70点)	基本マスタ(給食日数、祝日、学校情報など)は、設定が行いやすいよう提案されているか。	10
	シンプルな画面構成で直観的に柔軟な献立作成ができるよう配慮されているか。	10
	栄養管理・アレルギー管理等の献立が効果的に連携できるものとなっているか。	10
	参照機能や複写機能など、使用者の手間を考慮した、作業効率を上げる配慮がなされているか。	10
	各帳票類は使用しやすく、見やすいものとなっているか。	10
	アレルギー対応の確実かつ効率的な実施に資する機能は充実しているか。	10
	本市が想定する機能以外で効果的な提案はあるか。	10
4.サポート体制 (20点)	システム操作説明会を含む円滑運用に資するサポートについて具体的な提案がされているか。	10
	法改正対応、トラブル時等のサポート体制は優れているか	10
評価項目点 合計		150

〔評価項目点〕と〔価格評価点〕と〔機能評価点〕の合計点数が同点の場合、〔評価項目点〕の点数が高い方を優先とする。次に〔機能評価点〕を優先とする。